



心の足跡



道徳教育だより

令和4年5月2日

第1号

発行: 学校長、道徳部会

◆「心の足跡 道徳教育だより」発行について

令和元年度より、中学校では道徳が教科となり「特別の教科 道徳」としての授業が全面実施され、本年度で4年目を迎えました。それにもなると本校では、指導体制や指導計画の見直しを図るとともに、改訂の趣旨を生かした「考え...議論する道徳」へと、授業の質の変換についても研究を進めています。夏季休業中には、大学の教授を指導者として招聘し、研修会も実施しており、本年度で5回目を迎えます。また、授業や体験的な活動を通して道徳的実践力を向上させることは必須ですが、令和元年度の改定では、道徳教育について家庭や地域社会との連携も非常に大切になっています。

さて、今年度も「道徳の時間ってどんなことを学習しているの?」「その学習が学校生活にどうつながっていくの?」などの疑問にお答えできるよう、また各学年の授業の取組を学級・学年を越えて知ることができるよう、原市場中学校では「道徳教育だより」(心の足跡)を発行します。そして「道徳教育だより」を通して学校と家庭の連携を図りながら、子どもたちの道徳性を育てていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

◆道徳の時間では、どんなことを学習しているのでしょうか?

道徳の内容は、全学年、以下の4つの視点があります。それぞれの視点について教材をもとにしながら、1年間でまんべんなく学習するように計画しています。(全部で22の内容項目があります。)

A 主として自分自身に関すること (5つの内容項目)

- (①自主、自立、自由と責任②節度、節制③向上心、個性の伸長④希望と勇気、克己と強い意志
- ⑤真理の探究、創造)

B 主として人との関わりに関すること (4つの内容項目)

- (⑥思いやり、感謝⑦礼儀⑧友情、信頼⑨相互理解、寛容)

C 主として集団や社会との関わりに関すること (9つの内容項目)

- (⑩遵法精神、公德心⑪公正、公平、社会正義⑫社会参画、公共の精神⑬勤労・家族愛、家庭生活の充実
- ⑭よりよい学校生活、集団生活の充実⑮郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度⑯我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度⑰国際理解、国際貢献)

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること (4つの内容項目)

- (⑱生命の尊さ⑲自然愛護⑳感動、畏敬の念㉑よりよく生きる喜び)



これらの内容は学校だけではなく、各ご家庭でも大事にされているものと思います。今後も学校と家庭で連携を深め、ともに意識を高めていけたらと考えています。

◆「特別の教科 道徳」の評価について

元年度より道徳は、「特別の教科」として位置づけられ、道徳の授業を通して何をどのように学んだかを通知表に文章で記述しています。生徒が自分自身のよさや成長を実感し、意欲の向上につながるような評価を行っています。そのために、生徒同士が互いに意見を出し合い、考え合う、そして自分を見つめる時間となるような授業づくりに取り組んで参ります。

裏面に、本校の本年度の、道徳教育全体計画を掲載します。参考にさせていただいたら、と思います。

6月以降は、各学年の取組を紹介していく予定です。